

## 南長野運動公園フットボール場 事業手法について



令和4(2022)年 9月

文化スポーツ振興部スポーツ課国民スポーツ大会準備室

## ■ 現在の競技環境

| 総合計画施策               | カテゴリー                              | 施設                         | 面数        | 課 題                                                                                 |
|----------------------|------------------------------------|----------------------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| スポーツを通じた交流拡大の推進      | ◇交流人口拡大<br>◇経済・地域活性化<br>◇プロチームとの連携 | 長野Uスタジアム                   | 1<br>(天然) | ・練習ピッチ(サブピッチ)がなく試合・大会誘致に支障<br>・利用頻度が高く、芝生の圃場が不足                                     |
| 誰もがスポーツを楽しめる環境づくりの推進 | ◇競技施設                              | 千曲川<br>リバーフロント<br>スポーツガーデン | 5<br>(天然) | ・堤外地(河川敷)のため、度々水害の影響を受けている<br>・夜間照明、防球ネット、観客席等の工作物が設置できない<br>・天然芝であるため、養生期間をとる必要がある |
| 豊富な観光資源等を活かした観光交流促進  | ◇観光資源                              | 飯綱高原<br>南グラウンド             | 1<br>(天然) | ・芝生の状態が非常に悪く、相当部分が雑草の状態<br>・更衣室、トイレが老朽化しているほか、防球ネットがない                              |



## ■ 将来の競技環境

| カテゴリー                              | 施設名                    | 面数        | 目指す用途                                                                             | 整備年            |
|------------------------------------|------------------------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| ◇交流人口拡大<br>◇経済・地域活性化<br>◇プロチームとの連携 | 長野Uスタジアム               | 1<br>(天然) | ・国際大会(男子アンダー代表、女子代表等)開催<br>・Jリーグ/WEリーグ公式戦<br>・天皇杯/皇后杯等カップ戦<br>・各種大規模大会の決勝、3位決定戦   | H15<br>(改修H27) |
|                                    | フットボール場<br>天然芝グラウンド    | 1<br>(天然) | ・国際大会の練習等(Uスタジアムのサブピッチ)<br>・AC長野パルセイロの練習拠点                                        | R9<br>(予定)     |
| ◇競技施設                              | 人工芝グラウンド               | 2<br>(人工) | ・市内クラブチーム等一般競技者の練習(平日夜間中心)<br>・各種大規模大会の予選リーグ、順位決定トーナメント<br>・各年代のリーグ戦、カップ戦(休日 昼夜間) | R9<br>(予定)     |
|                                    | 千曲川リバーフロント<br>スポーツガーデン | 5<br>(天然) | ・各年代のリーグ戦、カップ戦(休日昼間)<br>・市内クラブチーム等一般競技者の練習(休日昼間)                                  | H2<br>(改修H29)  |
| ◇観光資源                              | 飯綱高原南グラウンド             | 1<br>(天然) | ・サッカー合宿利用等による飯綱地区の活性化<br>・サッカーの避暑地としての利用<br>・合宿等の空きコマは市民、パルセイロ利用により活用             | S60<br>(改修R3)  |

注：青字の用途はフットボール場の整備により新たに本市に加わるもの

注：緑字の用途は千曲川リバーフロントスポーツガーデンからの機能移転となるもの

■ 概算事業費 3,745,000 千円

■ 施設規模 約100,000㎡ (10ha)

・ 南長野運動公園の公園区域を東側に拡張して整備

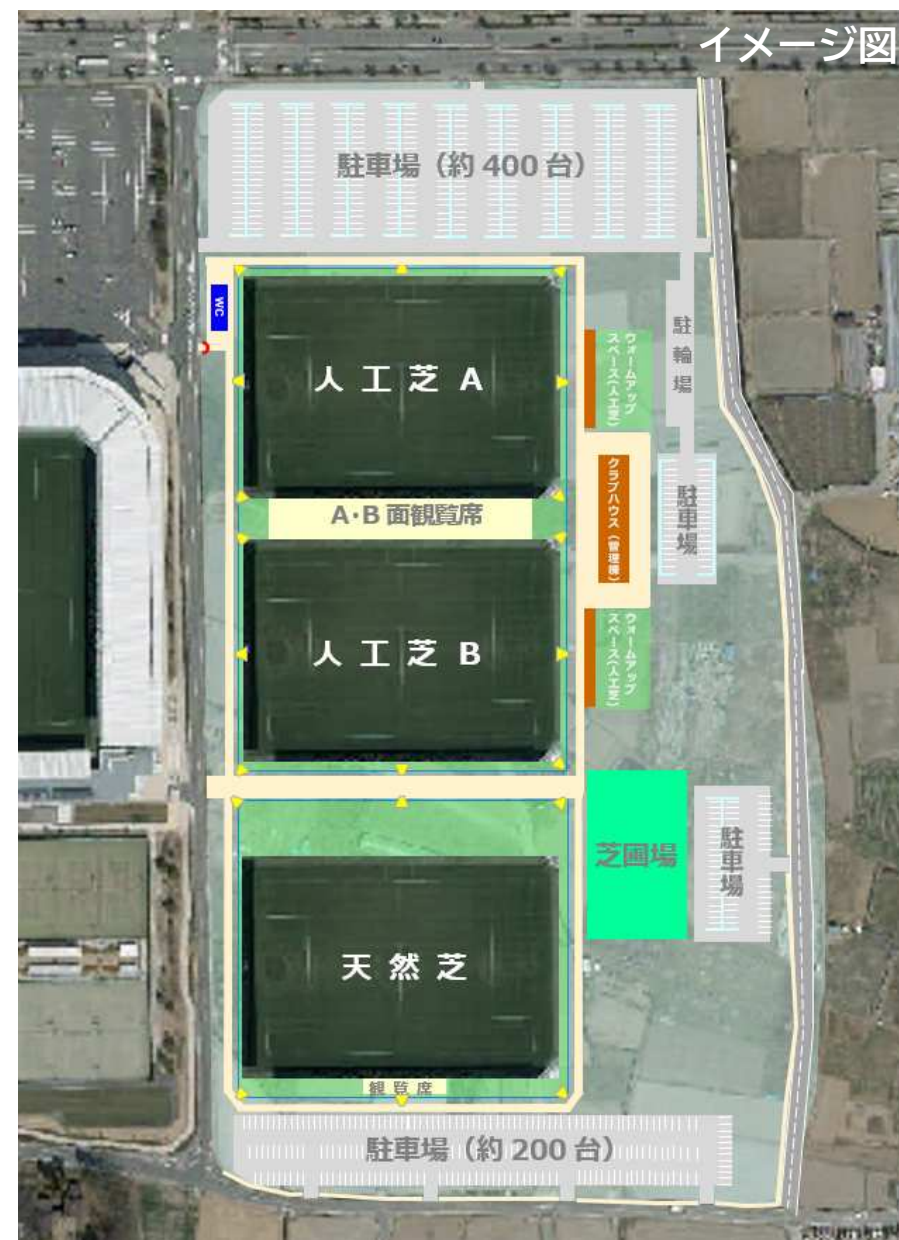
■ 天然芝1面・人工芝2面 …1面あたり 縦120m×横80m程度

■ クラブハウス(管理棟) …シャワー付き更衣室・医務室・会議室 等

■ 付帯設備 …夜間照明・防球ネット・観客席・公衆トイレ 等

■ その他 …<sup>※</sup>駐車場、天然芝用圍場、ウォームアップスペース 等

※ 南長野運動公園は休日における慢性的な駐車場不足の課題があるため、フットボール場整備にあわせて駐車場を増設する。



イメージ図は基本設計等により変更になる場合があります

- ・「長野市PFI等活用ガイドライン」に基づき、「簡易な検討の計算表」を用いてVFMを算出
- ・「簡易な検討の計算表」では、従来方式と以下3つの事業手法を比較することとしている(指定管理者制度を除く)

## VFMの数値

| ①BTO方式ほか<br>(PFI手法) | ②DBO方式<br>(PPP手法) | ③BT方式<br>(PFI方式) |
|---------------------|-------------------|------------------|
| -1.9%               | -3.2%             | -3.3%            |



財政支出削減効果は見込めないため  
左記の事業手法は採用しない

※ 民間による整備で得られる財政削減額以上に、資金調達費、調査費用、税金等の経費が上回るため、VFMが出ない。

## その他手法の検討（次ページ）

本事業で想定されるPPP手法「DB方式」「ECI方式」及び「従来方式」を比較検討

## 視点1 民間ノウハウの活用

## ■ DB方式の特徴

設計・施工を一括で発注するため、従来手法より民間ノウハウを活用できる

## ■ 本事業で想定する施設

- ・フットボール場は一般的なもの(下記写真)を想定
- ・クラブハウス(管理棟)も、運営上必要な諸室を整備するものであり、民間ノウハウの活用は小さい

## ■ ECI方式の特徴

特殊な構造の建築物や施工が困難な敷地条件等の難工事の場合、施工業者の技術を設計に反映できる

## ■ 本事業で想定する施設

- ・クラブハウス(管理棟)は特殊な構造の建築物は想定していない
- ・新たに用地を取得するため、整備に当たり困難な敷地条件ではない

<参考> 県内類似施設においても、**従来方式**による整備



民間ノウハウを活用できる余地は少なく、従来方式でも対応可能

### DB方式

設計段階において資機材調達や人員確保等が可能なことから、事業期間は最も短い

### ECI方式・従来方式

DB方式に比べると事業期間は長い



いずれの方式でもリハーサル大会までに供用開始可能

### 視点3 国のDB方式適用の見解

設計・施工一括発注方式導入検討委員会報告書 抜粋（国土交通省）

#### (2) 設計・施工一括発注方式の適用がふさわしくない場合

下記に類する場合は、設計・施工を一括で発注すると、問題が発生する可能性の高いことから、当面、本方式を適用しないこととする。

##### ① 用地買収が未完了等により着工時期が確定していない場合

※ ECI方式においても、DB方式と同様に施工業者との契約を先行して実施する必要がある



用地買収を伴う事業であるため、DB方式・ECI方式の適用はふさわしくない

## V 維持管理・運営について

- ・ 現在、南長野運動公園は、指定管理者制度を適用し、維持管理・運営を行っている
- ・ フットボール場整備後の維持管理・運営施設を、現在と同様の指定管理者制度適用施設にフットボール場を加え一体で維持管理・運営した場合と、フットボール場単独で維持管理・運営した場合の比較を行った

| 管理・運営<br>比較項目 | 現在と同様の指定管理者制度適用施設<br>＋フットボール場とした場合                                                                                                                         | フットボール場を単独とした場合                                                                                                                                              |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 市民の利便性        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 南長野運動公園全体が管理範囲のため、窓口が一本化される</li> <li>○ 南長野運動公園利用者の利用状況や要望等を一元化できることから、ニーズにあったサービス提供が可能</li> </ul>                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>△ 南長野運動公園内で施設の管理者が異なるため、問い合わせ窓口が複数になり、市民の利便性が低下する</li> <li>△ 利用者の要望等に対して施設ごとの対応となるため、南長野運動公園全体のサービス向上が望めない</li> </ul> |
| 災害等緊急時        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 南長野運動公園全体の状況を一元管理しているため、迅速な対応が可能</li> </ul>                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>△ それぞれの施設管理者と調整が必要であり、迅速な対応ができない</li> </ul>                                                                           |
| コスト           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 芝生管理機材の共用化によりコスト削減が見込める</li> <li>○ 人員配置の効率化による運営費の縮減が可能</li> <li>○ 維持管理対象施設が多いことでスケールメリットによるコスト縮減が見込める</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>△ それぞれの管理施設ごとに人員を分けなければならないため、効率が悪く、コストの縮減が見込めない</li> </ul>                                                           |
| 公園全体の有効活用     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大規模な大会等の開催時、駐車場や施設間の利用調整が可能である</li> <li>○ 公園全体を使った幅広い活用が可能で、稼働・集客の面で施設間の相乗効果が見込める</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>△ 公園内の施設管理者が異なるため南長野運動公園全体を利用した大規模な大会等の開催には相当前からの事前調整が必要</li> </ul>                                                   |

〈凡例〉 ○：メリット △：デメリット



南長野運動公園を一体管理とすることで効率的な維持管理・運営が可能

## 事業手法

### PFI手法等の導入について

- ・ VFMがマイナスのため、導入するメリットがない



PFI手法は採用しない

### 採用する事業手法について

- ・ 民間ノウハウを活用できる余地は少なく、従来方式でも対応可能
- ・ 用地買収を伴う事業であるため、DB方式・ECI方式の適用はふさわしくない



従来方式

### 維持管理運営について

- ・ 指定管理者制度導入施設と合わせ、一体管理とすることで効率的な維持管理・運営が見込める



南長野運動公園全体で  
指定管理者制度を適用

## 今後検討する事項

### 公的費用の縮減

- ・ フットボール場を利用するサッカークラブ等から施設整備に当たっての財政支援を求めるほか、クラウドファンディング、ふるさと納税等を検討する。